

八 枝

北九州市立八枝小学校

第16号

文責 弥永 和利

【学校教育目標】思いやりの心もち、自ら学び考える、
心身ともに健康な児童の育成

3年生が、総合的な学習の時間で「七輪体験」をしました。 地域の「七輪、火おこし名人」の方々にたくさん来ていただきました。

先日の1年生の生活科の「昔遊び体験」に続いて、今回の3年生の総合的な学習の時間の「七輪体験」でも、たくさんの地域の方々に来ていただきました。子どもたちは、地域の方々に七輪の火おこしの仕方を教えていただき、お餅を焼いて、みんなでおいしく食べました。私も、子どもたちが焼いてくれたお餅をいただきましたが、格別においしかったです。今の子どもたちにとっては、マッチをすって火をおこすという経験がなかなかないようで、貴重な体験ができたようです。地域の方々には、大へん寒い中に来ていただき、子どもたちに優しく、分かり易く“火おこしの技”を教えていただき本当に感謝するばかりです。本当にありがとうございます。



七輪、火おこし名人の方々



名人の技に驚く3年生



焼いた餅をおいしく食べる3年生

<3年生の感想>

- ・はじめ七輪に火をおこすのは、かんたんだと思います。けれど、やってみてもぜんぜん火がおこりませんでした。でも、ながいさんが、こつややりかたを教えてくれたので、うまく火をおこせました。おもちゃをやっていたら、すごくふくらみました。
- ・七輪体験をして、いろいろなことを学びました。その中で、はじめて知ったことは、昔の人は、七輪でやくということです。その七輪でやいたかきもちも、とてもおいしく、さとうのりのあじでした。年長者の人は、もの知りですごいと思いました。
- ・マッチをつけるのが、さいしょこわかったけど、やってみるとこわくなくなりました。下のあいている所で、うちわをあおいで上からけむりを出すのがむづかしかったです。昔の生活は、こんなに大へんだったんだなと思いました。
- ・七輪を使ってすごいなと思ったことは、七輪の下のまどをあけたら、空気が通って火が出ます。まどをしめると、空気が入らないから火がぜんぜん出ないことがわかってよかったです。

来年度から、本市では、「外国語科」と「外国語活動」が始まります。

平成32年度から全面実施となる新学習指導要領では、小学校での新しい外国語教育が始まります。中学年に「外国語活動」、高学年に「外国語科」が導入されます。

中学年の「外国語活動」では、「聞くこと」「話すこと」を中心とし、高学年では、教科として「外国語科」が位置付けられ、「聞くこと」「話すこと」に加え、文字を「読むこと」「書くこと」が入り、外国語に慣れ親しんでいきます。中学年の「外国語活動」は週1時間、高学年の「外国語科」は週2時間の授業が行われ、本市では、来年度、平成30年度から前倒しで実施されます。

先日、5年2組の南学級で、来年度から始まる「外国語科」を見据えて、「教科名や曜日の英語での言い方を知り表現に慣れ親しもう。」というめあてで研究授業が行われました。授業では「3ヒントクイズ」や「キーワードゲーム」等を取り入れていました。子どもたちは、繰り返し英語で言いながら、時にはジェスチャーも加え、とても楽しく英語に慣れ親しんでいました。

外国語活動の様子

